

あべのキッズプナナ事業所評価(2023年度)

公表: 2024(令和6)年 3月 1日

事業所名 あべの作業所(あべのキッズプナナ)

		チェック項目	はい	率	いいえ	率	合計	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	9	90%	1	10%	10	・機の配置を真ん中ではなく端に置き、動線を確保している。 ・児童の特性や人数等で部屋を分けたり柔軟な対応をしている。	
	2	職員の配置数は適切であるか	8	80%	2	20%	10	・厚生労働省が定める指定基準を遵守し、児童2名に対し、職員1名以上を配置している。 ・外出プログラムにおいては基準以上の職員を配置している。	
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	5	50%	5	50%	10	・玄関に段差があり、階段もあるため、完全なバリアフリーではないが、段差がある場所などでは危険がないようにスタッフが見守り、声かけを行っています。	
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	10	100%	0	0%	10	・毎日の朝礼・振り返り・週1回の打合せで都度行っている。 ・会議では個別支援を中心に話し合い、業務改善についても意見を出し合い取り組み、職員が共通理解できるよう伝達している。	
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	10	100%	0	0%	10	・送迎の際にも保護者の意向を聞き、寄り添い、常に考え、つなげている。	
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	10	100%	0	0%	10	・事業所の会報に自己評価の結果をホームページで公開していることを周知しています。	
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	9	90%	1	10%	10	・法人内他部署との意見交換を積極的に行い、業務改善につなげている。	・外部評価は実施しておりません。
適切な支援の提供	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	10	100%	0	0%	10	・外部研修に積極的に参加し、月1回法人全体での研修や施設内研修に積極的に参加している。	
	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	10	100%	0	0%	10	・半期に1度、保護者から個別支援計画に対してのアンケートを取り、保護者の意向を反映させて作成しております。	
	10	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	10	100%	0	0%	10	・標準化されたアセスメントツールも参考にしながら、事業所独自のアセスメントツールを作成し、判断する方針をとっています。	
	11	活動プログラムの立案をチームで行っているか	10	100%	0	0%	10	・月2回の会議でプログラムの立案を行っています。	
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	10	100%	0	0%	10	・3年分のプログラムを比較し、固定化しないよう季節に応じたプログラムを作成しています。	
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	10	100%	0	0%	10	・個別支援で生活面と外出時とに分けて作成するとともに、長期休暇前には会議を設け、支援や課題について話し合っています。	
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	10	100%	0	0%	10	・生活面、外出時と分けた上で総合的な支援目標も設定し、個別支援計画を作成しています。	
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	10	100%	0	0%	10	・支援前に必ず朝礼を行い、支援内容や役割について確認しています。	
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	10	100%	0	0%	10	・支援終了後には振り返りを行い、終礼報告書を作成し、情報を共有しています。	
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	10	100%	0	0%	10	・サービス提供記録を作成し、保護者への報告とともに終礼用紙を作成し、職員の振り返りにも生かし、支援の改善につなげています。	
18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	10	100%	0	0%	10	・少なくとも6か月に1回は、モニタリングを行い、計画の見直しを行っています。 ・会議でも個別支援計画について話し合い、見直しの必要性を判断しています。		

	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせさせて支援を行っているか	10	100%	0	0%	10	・ガイドラインに沿った内容でプログラムを考え、提供しています。 ・スタッフ間で定期的に会議を行い、活動について話し合い、支援に生かしています。	
関係機関や保護者との連携	20	障がい児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	10	100%	0	0%	10	・基本的に児童発達支援管理責任者が参加し、子どもの状況を伝え、他事業所での様子をスタッフ間に伝達し、共有できるようにしています。	
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか	10	100%	0	0%	10	・学校との支援会議を実施し、互いの個別支援計画を基に支援に対しての情報共有や統一化などを図っています。	
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか	9	90%	1	10%	10	・現在はケアを必要とする児童が在籍しておりませんが、契約時に主治医の有無を確認しています。また提携病院との連携を必要に応じて行っております。非常勤看護師を支援員として配置しています。	・現在医療的ケアを必要とする児童のご利用はありません。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	10	100%	0	0%	10	・基本的には保護者様にヒアリングを行い、必要に応じて関係事業所と連絡を取り合っています。	
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障がい福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	10	100%	0	0%	10	・保護者様の同意を得た上で、作業所と引継ぎ会議を実施し、円滑に支援内容や情報提供を行うなどしています。	
	25	児童発達支援センターや発達障がい者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	8	80%	2	20%	10	・職員研修や保護者会などの研修会で、専門機関から助言を受けたり、手帳の更新に同行して助言や研修を受けています。	
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか	10	100%	0	0%	10	・近くの公園や外出先などで遊ぶ機会に地域や外出先の子どもたちとかかわり遊ぶことがあります。	・感染症対策として密にならないよう見守りながら取り組んでいます。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか	10	100%	0	0%	10	・阿倍野区自立支援協議会・障がい児部会などに積極的に参加しています。	・今年度は運営委員に選出され、積極的に参加し、運営会議にも参加しました。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	10	100%	0	0%	10	・日々の連絡帳等を活用し、随時状況や課題について話し合いながら進めています。また、送迎時にも保護者様に子どもの様子を伝え、共通理解を図っています。	
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	10	100%	0	0%	10	・支援方法について、随時相談や助言などを行っております。また、専門の講師を招いて保護者会での講演を開催しております。	・職員もペアレントトレーニングの外部研修にも参加しました。
保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	10	100%	0	0%	10	・契約時に運営規定、支援内容、利用者負担額等について、丁寧に説明しております。	
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	10	100%	0	0%	10	・保護者様からの相談など、日々の連絡帳で受けたり、必要に応じて面談を行ったりしながら助言や支援を行っております。	・送迎時にも保護者と積極的にコミュニケーションをとり、気軽に相談しやすい雰囲気づくりに努めている。
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	10	100%	0	0%	10	・半期に1回、保護者会を開催し、プログラム内容を体験していただいたり、研修会を実施したりしながら保護者同士の連携を支援する機会を設けております。	・児童の活動を見学していただいたりスポーツセンターでのイベントと一緒に参加する保護者会を実施し、保護者同士の連携を支援する機会となりました。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	10	100%	0	0%	10	・苦情を受けてから早急にスタッフ間で話し合い、対応しています。	
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	10	100%	0	0%	10	・月1回、次月の予定表と通信を配布し、週1回ブログを更新して活動概要などの情報を発信しています。	
	35	個人情報に十分注意しているか	10	100%	0	0%	10	・個人情報は鍵のかかる書庫で管理し、職員には誓約書を取り交わしています。	

	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	10	100%	0	0%	10	・電話などで伝達しにくい場合は、直接お話ししたり、ボディランゲージ等を使って意思の疎通を図れるように配慮しています。	・ハンドサインや手話を通信に掲載し、意思疎通を図りやすいようにしている。
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	10	100%	0	0%	10	・地域の福祉行事に積極的に参加し、その際に招待しています。	・コロナの影響で制限があるため、密にならないよう感染防止対策を徹底し、取り組んでいます。
非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアルを策定し、確認、実行しているか	10	100%	0	0%	10	・ホームページにマニュアルを公表し、周知しています。	
	39	防犯マニュアルを策定し、確認、実行しているか	10	100%	0	0%	10	・ホームページにマニュアルを公表し、周知しています。	
	40	感染症対応マニュアルを策定し、確認、実行しているか	10	100%	0	0%	10	・ホームページにマニュアルを公表し、周知しています。	
	41	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	10	100%	0	0%	10	・年に2回の作業所合同避難訓練に加え、事業所内避難訓練も行っています。防災センターでの学習を子どもたちと一緒にしています。	・年4回避難訓練週間を設けて、防災について子どもも職員も意識を高めています。
	42	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	10	100%	0	0%	10	・積極的に外部研修に参加したり、伝達研修等を実施したりして職員の資質向上に努めています。	・施設内研修や全体会議などでも実施し、職員の虐待に関する意識を高めるようにしています。
	43	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	10	100%	0	0%	10	・現在該当児がいないことに加え、身体拘束を行わなくても対応ができるよう日頃から信頼関係を築いているため、今のところ計画に記載する必要がありません。	
	44	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	10	100%	0	0%	10	・アセスメントを基に職員間で情報共有しています。	・保護者と連携をとり、医師の指示を聞いた上で、おやつや食事を提供しております。
45	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	10	100%	0	0%	10	・ヒヤリハットが発生した場合には、早急に報告書を作成し、スタッフ間で共有し、意識の向上に努めています。		